

種目名	理科	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	東京書籍
-----	----	---------	-----	--------	--	---------	------

発行者 観 点	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館
1 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>働かせる「理科の見方・考え方」を具体的に示し、問題解決を進められるような構成になっている。児童が意識的に理科の見方・考え方を働かせながら思考し、深い学びを実現できるように編集されている。</li> <li>児童が深く考え、他者と対話することを通して、思考力・判断力・表現力等を育成するよう編集されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童自らが「理科の見方・考え方」を働かせ、見通しをもって問題解決の活動に取り組むことにより、問題解決の力を養うことができるように編集されている。</li> <li>主体的・対話的な問題解決の活動を繰り返すことにより、深い学びが実現し、また児童の「理科の見方・考え方」が豊かなものになり、育成を目指す資質・能力が更に伸びるよう編集されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な活動を通して、児童自らが主体的に問題解決しようとする態度が育つよう配慮されている。試行錯誤しながら学ぶことで、粘り強く学習に取り組む態度や、自らの学習を調整しようとする態度が育つよう編集されている。</li> <li>身につけたい資質・能力を具体的に示し、学ぶことを確認し学習の見通しをもつことができるよう編集されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が自然の事物・現象に関心や意欲をもって主体的に関われるように、直接体験を重視し、五感を働かせた観察や体感的な活動を積極的に取り入れるよう編集されている。</li> <li>問題解決の各過程を具体的に分かりやすく示し、学習を通して、児童に問題解決の力が確実につくよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然に親しみ、自然の不思議さや美しさを感じながら、問題意識を高められるよう編集されている。「理科の見方・考え方」を働かせながら問題解決する具体例を示し、理科を学ぶ意義や有用性の実感につながるよう工夫されている。</li> <li>科学的な根拠をもとに、他者と対話的・協働的な活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育成するよう編集されている。</li> </ul>
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら課題を設定し解決する場面やものづくりの場面を設け、自主・自律の精神や創造性を養われるよう配慮されている。</li> <li>対話を通して思考を広げたり、合意形成をしたりする過程を示し、主体的に社会に参画する態度の基礎を育成できるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的・自律的な問題解決の活動によって獲得した知識を活用して、ものづくりなどの活動を通して、児童の創造性を尊重し高めるよう配慮されている。</li> <li>話し合い活動を通して、友情、信頼、相互理解、寛容の態度を養い、自他の敬愛と協力を重んじられるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人の創造性が育つよう学習後「ものづくり」の場面などを設けたり、自由研究の進め方を示したりし、自己の学びを追求できるよう配慮されている。</li> <li>話し合いや発表、説明活動などを重視し、自分の考えをもち仲間と協力して学習し、より深い学びに向かうよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が創意工夫を凝らしておもちゃや道具を作る「ものづくり」を設定し、創造性を培えるよう配慮されている。</li> <li>人間生活と地球環境との関わりについて考える内容を扱い、環境の保全に寄与する態度を養われるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容を生かして自らのアイデアやテーマをもとに行う製作活動を通じて、創造性を高め、自主・自律の精神を養えるよう配慮されている。</li> <li>国際的な話題やSDGsに関連する題材を積極的に掲載し、国際社会の平和と発展に寄与する態度が養われるよう配慮されている。</li> </ul>

3 内 容	(1) 内容の 選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別最適な学びと協働的な学びの一体化を実現し、確かな学力と深い学びにつながるように配慮されている。</li> <li>・児童が主体的・対話的に問題をつかみ、見通しをもって問題解決活動に取り組める内容が選択されている。</li> <li>・単元末には、キャリア教育や伝統・文化、SDGs、STEAM教育など、学んだことを日常生活や社会につながる読み物や活動を設定し、理科の深い学びや有用性を実感できるよう配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象から主体的に問題を見だし、問題解決の活動を通して資質・能力が育成できる内容が選択されている。</li> <li>・「理科の見方・考え方」を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことで、主体的・対話的で深い学びができるように配慮されている。</li> <li>・地域の活動や博物館紹介や、他教科、キャリア教育、SDGsなどの読み物資料を掲載し、理科の有用性を実感できるよう配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の思いや願いを学習の初めに位置付け、「理科の見方や考え方」を働かせ、身の回りの事物・現象を学習できる内容が選択されている。</li> <li>・育成を目指す資質・能力が問題解決の過程の中に示され、見通しをもって学習できる内容が選択されている。</li> <li>・キャリア教育、SDGs、安全・防災教育など、理科の学習と生活や地域・仕事に関連する内容が取り上げられ、自ら考える生きた力を育てるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の過程ごとに予想や結果を発表し合う活動を通して、対話的に学び合っって学習が進められる内容が選択されている。</li> <li>・児童が習得した知識・技能や問題解決の力を、他の事象や日常生活に当てはめて深い学びにつなげられるように配慮されている。</li> <li>・実生活・実社会と学習内容との関連をはかるために、科学の読み物資料で学習内容と関連した実生活の事象を紹介し、学びの価値を実感できるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の過程を明確に示し、見通しをもって主体的に学習に取り組める内容が選択されている。</li> <li>・予想・計画や考察では、「理科の見方・考え方」を働かせた対話的な学習活動を例示し、深い学びにつながるように配慮されている。</li> <li>・SDGsやSTEAM教育、防災・減災など、今日的な課題や日常生活に関連する内容や他教科との関連する内容が選択されている。</li> </ul>
	(2) 内容の 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間で10時間程度の余裕をもたせ、体験活動や発展的・補充的な学習の時間を十分確保できるように配慮されている。</li> <li>・単元末の学習の振り返りでは、自らの定着度を自己評価できるようにし、家庭学習に取り組みやすいように配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発想を生かした問題解決の活動を学習の基本におき、児童の心身の発達に即した観察・実験の技能や基礎的・基本的事項が無理なく習得できるように配慮されている。</li> <li>・学習後に個々の児童の理解に応じた補充的学習を行えるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準授業時数内の学習で体験を重視しつつゆとりがあり、各学年における教材や観察、実験の分量は、対話的な学びや深い学びに向かえるよう配慮されている。</li> <li>・学年に応じた発展的な学習が設定され、児童の興味を広げたり、理解をより深めたりできる内容になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年とも所定の年間配当時数の一割程度減じた配当時数となっており、ゆとりをもって授業が進められるように配慮されている。</li> <li>・発展的な学習として、関連する中学校の内容を掲載したり、中学校以上で扱う内容を分かりやすく示したりするなど、小中の連携を意識できるように配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配当時数は、各学年10時間程度の余裕をもたせ、児童が自ら活動し、問題解決学習を行うのに適した時数を配当している。</li> <li>・単元末の学習内容を振り返る補充問題に取り組むことで、児童一人一人の理解度に応じて、習熟度を高められるよう配慮されている。</li> </ul>

	(3) 内容の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科の4領域で学習内容を整理して系統立てて見通しと振り返りを行うことができるような構成になっている。</li> <li>基礎となる単元を先行させ、季節的に適当な時期に扱うことができるように配列されている。</li> <li>まとめと振り返りの場面では、QRコンテンツを活用し、学びを生かして広げるための読み物や活動、動画が豊富に配列されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「理科の見方・考え方」を働かせながら問題解決の力の育成を中心とした構成となっている。</li> <li>児童の興味・関心、他教科や領域間の内容のつながりを考慮し、見通しをもった学習が展開できるような構成となっている。</li> <li>単元末に知識及び技能を整理・確認する内容や発展的な内容が掲載されており、児童が主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元間のつながりを考慮し、発達段階に応じて問題解決の流れを重視した構成になっている。</li> <li>既習事項の振り返りや学習後の振り返りを通して、学びの振り返りを意識させ、資質・能力が定着できるような構成となっている。</li> <li>学習後に振り返りを行うことで学びがつながり、学習した内容から生じる疑問や興味に基づく発展的な内容が配列されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然についての理解や基本的な技能、問題解決の力、自然を愛する心情や主体的な態度が養われるような構成となっている。</li> <li>学習で得られた理解や技能が次の学習に活用できるように適切に単元が配列されている。</li> <li>単元末に学習の振り返りや習得の度合いを確認できる評価問題を配置し、知識や技能が習得できるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元は季節に応じて適期に設定し、単元間の関連付けにも配慮して構成されている。</li> <li>単元末では、単元の要点の整理から実生活・実社会への活用・応用までと、段階的に個人差に応じた展開となっている。</li> <li>単元末に知識及び技能の定着を図る問題を掲載し、解説動画を視聴することで基礎学力の定着と応用力・活用力の育成を図るよう配列されている。</li> </ul>
4 表記・表現及び使用上の便宜等		<ul style="list-style-type: none"> <li>A4判の紙面で、写真や図などの資料が大きく、数多く配置され、鮮明で分かりやすい。</li> <li>観察・実験での安全に配慮した注意事項が目立つようにマーク表示や赤文字で強調し、分かりやすくなっている。</li> <li>単元末に学習内容をまとめたページがあり、振り返りのノート作成例が手書き形式で分かりやすく掲載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真は、学習意欲を喚起できるように、ダイナミックな自然の姿や、日常生活で目にする身近なものを掲載するよう配慮されている。</li> <li>安全に配慮する内容については、「注意」マークやイラストで示し、理由が具体的に掲載されている。</li> <li>身近な題材を取り上げた読み物資料が多く掲載され、児童の興味・関心を高める工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や資料画は忠実に実物を再現し、適切に配置されている。</li> <li>観察、実験について手順と観察の視点や配慮、注意などを分けて示し、流れが分かりやすいように表現されている。</li> <li>身近な生活や仕事に関する読み物資料を多く取り入れており、学習への関心が高まるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の内容に合わせたイラストや写真がバランスよく配置されており、大判の紙面を効果的に使用している。</li> <li>安全に対しての配慮が必要な個所には、色分けした注意と危険のマークや記述があり、安全面や危険防止への配慮がされている。</li> <li>単元の内容に関連する資料が掲載されており、学びの価値を実感できるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の素晴らしさを伝える写真や、精密に描かれた自然や科学のイラストを多数掲載し、児童の興味・関心を高めるように工夫されている。</li> <li>観察・実験の手順、理科室での約束や注意事項が示されており、安全に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>単元末に日常生活や社会に関連した話題を掲載し、理科の有用性を感じるよう工夫されている。</li> </ul>
5 印刷・造本等		<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザイン書体を採用し、配色及びデザインについて具体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷は鮮明で、文字の大きさや行間、レイアウト、文節での改行や配色など、読みや</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字・写真・イラストがどれも鮮明である。レイアウト、表記、配色は、児童が読みやす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イラストや写真が鮮明で見やすく、教科書体を使用し、発達段階に応じて文字の大き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真やイラストは色や質感の再現を重視するなど、鮮明な印刷となっている。児童が</li> </ul>

	<p>的な色名を示すなど、色覚の多様性にも配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の身体的負担軽減に配慮してページ数の削減に努め、さらに軽量でかつ破れにくい用紙を使用している。</li> </ul>	<p>すい工夫がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙質は、十分な強度をもち、できる限り軽量化を図り、環境に配慮した用紙を使用している。A4判で、長期の使用に耐えうる造本となっている。</li> </ul>	<p>く理解しやすいように配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した用紙を使用し、重量にも配慮されている。AB判を採用し、ページは開きやすく、年間の使用に耐えられる造本となっている。</li> </ul>	<p>さや行間となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用紙は、AB判よりも上下にゆとりのあるA4変形判を採用し、軽量でページをめくりやすくなっている。</li> </ul>	<p>支障なく学習できるように配色・表現など配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机上での扱いやすさと見やすさを配慮し、AB判を採用している。軽量で開きやすく、強度が保てる用紙を使用している。</li> </ul>
--	--	--	---	--	---